
悪戯と答え 眠る君の元で

刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪戯と答え 眠る君の元で

【著者名】

ZZマーク

1

【作者名】

刹那

【あらすじ】

昔、ばかやつていた。その顛を振り返った少年のひとつも。

(前書き)

第三回、おもこつき余興小説。
興味があつたらお読みください。

君は活発で無邪氣で。

照れ隠しか単なる悪戯かは知らないけど君は良く僕をける。
結構痛かったんだよ。

でも心地よくでもあつた。

なんで君を好きになつたのか？自分でも分からぬ。

これが恋なのか。それとも勘違いなのかは定かではないけれど。

君といふひとときは楽しかつた。

蹴られたり、蹴られたり、蹴られたり。

でも楽しかつた。

君にキスされた日には悪戯なのかも判別できず。
返事を返さなかつた。

僕が間違つていたのか、それとも君が……。

答えは見つからない。

だつて、この答えを見出すことは君もいなくちゃダメだから。

「ね？ どうなんだろ？ でもどつあえず言つよ。僕も好きだよ

今日はそれを云ふたくて。
明日も来るから。

僕は君の眠る場所にそつと花束を置いた。

涙と菊の花束を…。

(後書き)

はじめてバット書きます。
変なところもあると思いますが、広大な心で許してください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9692m/>

悪戯と答え 眠る君の元で

2011年1月15日23時23分発行